

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【 東広島市立小谷小学校 】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	第4学年（2学級）・56人
3 展開の形式	教科で実施 教科名（学級活動：2時間（国語科と関連付け））
4 目標（ねらい）	<p>※ 全学年共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピックの理念や大会マスコットの役割について理解を深める。</li> <li>・学級で一つのマスコットを選ぶ活動を通して2020年東京開催への関心、参加意識を高める。</li> </ul>
5 取組内容	<p>国語科「クラスで話し合おう」において、司会者、提案者、参加者というそれぞれの役割を意識しながら、議題に沿って話し合う学習を行った後に、実施した。</p> <p>【1時間目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピックについて、その理念、マスコットの役割、マスコット案について新聞記事や指導者の説明により知る。</li> <li>・3グループに分かれ、それぞれのマスコット案についてインターネット等を活用して調べ、一人一人の意見を明確にする。</li> </ul> <p>【2時間目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会者・提案者・記録者・参加者の役割を決め、マスコット学級投票に向け、「マスコット選考の視点」に沿って話し合う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>①議題を確かめる</li> <li>②意見を出し合う                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に調べたことを基にして案のアピールポイントを</li> <li>・「マスコット選考の視点」に沿って検討する</li> </ul> </li> <li>③それぞれの意見について質問する</li> <li>④それぞれの意見について話し合う</li> <li>⑤意見をまとめる</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の考えを基に投票する。支持する案と、その理由を投票用紙に書く。</li> </ul>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科の学習においては教科書の例示に準じたテーマで話し合い活動を行った。特別活動と関連付けることで、目的に合わせて話し合いの進め方を変える等の必要が生じ、話し合いの進め方についてより理解を深めることができた。</li> <li>・話し合いに当たって、グループに分かれて調べる時間を設定したことで、オリンピック・パラリンピックやマスコットの役割についての関心を高めることができた。</li> </ul>
7 実践において工夫した点（事業の特色）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校での取組とするために「オリンピック・パラリンピック教育の推進に向けて（最終報告）」（2016. 7. 21）を使って校内研修を行い、オリンピック・パラリンピック教育の目的等について共通理解を図った。</li> <li>・オリンピック・パラリンピック教育推進担当者が、スポーツ庁が示すモデル案を基に本校実態に合わせた指導案や提示資料を準備したり、各学級の投票時期を学校全体で統一したりすることで、学校全体のムードを高めることにつながった。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校は第1学年から第6学年と発達幅が大きく、発達に応じた指導を行うためには、学級担任に対し幅広い情報を提供する等のサポートが必要である。</li> <li>・各学級での投票で指導を終えるのではなく、各学級の投票結果を全校児童で</li> </ul>

	共有したり、マスコット決定の日を伝えたりする等して、児童の関心を更に高めるための工夫が必要である。
9 来年度以降の 実践予定	・マスコット投票は次年度は行われない。東京大会への関心を高めるために話合いに適したテーマが他にもあるのであれば、本年度のように国語科の話合い単元と関連付け、年間指導計画に位置付けて実施したい。